

「社会的価値」の創造 ー社会ー

高速鉄道システムの海外展開



海外展開の意義

高速鉄道システムの海外展開は、国内各関連メーカーの市場拡大、技術力の維持・強化に加え、資機材の安定供給、技術革新やコストダウンなど、当社へのフィードバックも期待されるものであり、当社が日本の大動脈を維持・発展させるという使命を永続的に果たすために重要な取組みです。展開先の候補

は、当社的高速鉄道システムの優位性が十分発揮されるよう、新線による高速旅客専用線で、トータルシステムの導入が期待できる国や地域としているほか、知的財産権などの法制度の完備、政情の安定、巨大なインフラ投資を行う経済力という点も考慮し、現在、米国をターゲットとして取り組んでいます。

コンサルティング&コーディネーション事業

高速鉄道のような地域社会と経済の根幹となるインフラは、その国や地域の政府や企業が保有・運営すべきという考えから、当社は高速鉄道の海外展開において事業主体とはならず、コンサルティングを中心とした事業で寄与することとしています。具体的には、土木構造物・信号設備・車両・

運行管理システム・修繕保守等を含めたトータルシステムを提案し、技術仕様の策定、運転・保守に関する各種マニュアルの提供等、高速鉄道の安全・安定運行に必要なコンサルティングを行うとともに、日本の関連企業を取り纏めるコーディネーションを行うこととしています。

米国における高速鉄道プロジェクトへの取組み

東海道新幹線システムを米国テキサス州に展開するテキサスプロジェクト、及び超電導リニアシステム(SCMAGLEV=Superconducting MAGLEV)を米国北東回廊に展開する北東回廊プロジェクトに関する取組みを継続しています。

ます。加えて、当社は日本のメーカー各社と協力してコアシステム受注契約に向けた準備活動を進めています。

テキサスプロジェクトは、米国テキサス州のダラスとヒューストンという2大都市間を東海道新幹線型高速鉄道で結ぼうというもので、その開発主体であるTexas Central Partners社及び子会社(以下、まとめて「TC」という。)が、技術仕様の策定、運営・保守計画の作成、建設資金の調達等の事業開発活動を進めています。当社は現地子会社High-Speed-Railway Technology Consulting Corporation (HTeC)を通じてTCに技術コンサルティングを実施してい

北東回廊プロジェクトでは、ワシントンD.C.とニューヨークを結ぶ北東回廊へのSCMAGLEV導入を目指し、まずはワシントンD.C.～ボルチモア間が日米両政府の協力のもとで進められるよう、プロモーション活動を実施しています。現在、現地では米国連邦補助金を活用した連邦鉄道局等による環境影響評価の手続き等が進む一方で、日本政府も米国での導入に向けた調査事業を実施しています。当社としては、プロジェクトが具体的に進展した際には、技術面から支援を行う方針です。



ブティジェッジ米国運輸長官の新幹線視察

台湾高铁への技術コンサルティング

日本型高速鉄道システムを採用している台湾高速鉄道を運営する台湾高速鉄道公司から技術支援の要請を受け、2014年度から技術コンサルティングを開始し、これまでに9つの個別案件を完了しています。今後、計画段階から支援

してきた工事等に加え、2023年に同社が決定したN700Sをベースとした新車の調達に向けた技術支援など、引き続き台湾高速鉄道公司からの要請に応え、台湾高速鉄道の安全・安定輸送に貢献していく考えです。

日本型高速鉄道システムを国際的な標準とする取組み

一般社団法人国際高速鉄道協会(IHRA)を通じて、「Crash Avoidance(衝突回避)」の原則に基づく日本型高速鉄道システムを国際的な標準とする取組みを継続しています。



IHRA国際フォーラム(左:本会議、右:テクニカルビジット)

社会的価値の創造 ー社会ー

資材取引先との関係構築

資材調達の考え方

安全・安定輸送を支える上で、より高品質かつ信頼できる資材を適正な価格で調達するため、「資材調達における基本的考え方」に基づき国内外を問わず良い資材を調達しています。特に、品質については最も重要であると認識しており、取引先の工場に実際に立ち入っての品質監査を実施しているほか、取引先の技術水準や製造能力に加え、経営状況等の調査を行い、製品に求められる品質が確保されていることを確認しています。さらに、新たな取引先の参入促進、スケールメリットを考慮した発注、製造原価の厳密な査定等を行うことにより、コスト低減にも努めています。また、長期にわたり安定的かつ十分に社会的使命を果たし続けていくことが求められる鉄道事業では、それに供される資材にも長期的な品質の維持が求められます。昨今の部材不足、長納期化等、資材を取り巻く環境が大きく変化する中で、取引先の皆様と綿密にコミュニケーションを取るとともに、安

定的な供給やアフターケア等を求めています。特に、日々の運行に欠かせない資材については、地震等の災害の影響で供給が途絶えぬよう、複数の取引先への発注に努めています。このほか、取引先の皆様には、関係法令の遵守、人権の尊重を求めている、取引を始める際のみならず、定期的にこれらの取組み状況に関して調査を行っています。

取引先は、製品の品質を維持・向上しながらコスト低減の取組みを重ねていただく「パートナー」であり、継続的かつ安定的な取引関係を構築することは、当社が高い品質の製品を適正な価格で調達することを可能とし、その結果として、取引先を含めた日本の鉄道関連事業全体の強化・発展に寄与するものと考えています。

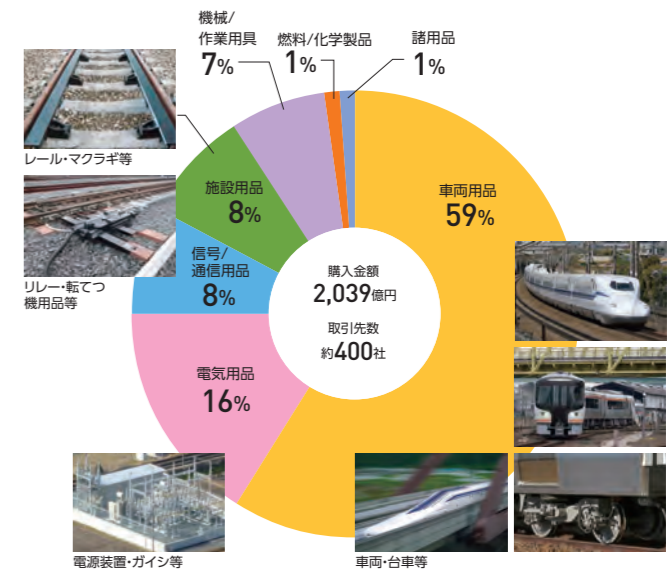


車両部品の品質監査時の様子

資材調達における基本的考え方

- 1 安全・安定輸送の確保を最優先した調達
- 2 高品質な資材の調達
- 3 適正な価格での資材調達
- 4 契約納期を厳守できる供給体制を整えている取引先の追求
- 5 継続的かつ安定的な取引関係を構築できる取引先の追求
- 6 平時・異常時に問わず十分なアフターケアを提供いただける取引先の追求
- 7 様々な使用環境に応えられる取引先の追求
- 8 十分なコミュニケーション体制の確立
- 9 情報の適切な取扱い
- 10 公平・公正な取引
- 11 環境負荷低減を考慮する取引先の追求
- 12 関係法令の遵守
- 13 ホームページでの資材調達情報の提供及び更新

主な資材の調達実績(2022年度)



パートナーシップ構築宣言

当社は、政府・経済団体等が推進している「パートナーシップ構築宣言」に賛同し、サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携、親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行の遵守に重点的に取り組むことを宣言しています。

